

令和4年度 いのちの授業 事例集（中学校）【その他】

掲載数

31

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	中複合	その他	SOSの出し方・受け止め方 共育	全学年で行い、心の痛みについて取り扱った。まず、自分自身のことについて思いつくり、書き出した。（好きな食べ物・好きなこと・楽しいことなど）その後、今書いてもらったことは、自分自身の心の支えになることを伝えた。次に、どのような時に心の痛みを感じるかを周りの人と話し合いを行った。最後に、「SOSの出し方受け止め方教室」という動画を見て、振り返りを行った。	共生共育プログラム 「SOSの出し方・受け止め方教室」
2 川崎市	中複合	その他	交通安全「交通事故から命を守る」	生徒が交通事故の被害者にならないことはもとより、加害者にならないために、交通事故の恐ろしさや交通ルール。マナーの順守の意識高揚をはかり自分や周りの身を守る知識を身につけることを目的とした。	講師は、幸警察署・交通課の職員
3 川崎市	中3	その他	「生命の誕生」	自他を尊重し大切にしていくことをテーマに命の尊さと生きるということをテーマに講演予定。	講師：ベイビーズアイ
4 川崎市	中複合	その他	スケアードストレート方式による交通安全教室	令和3年中の県内における交通事故発生状況等については、発生件数及び負傷者数とも増加した。また死者数は都道府県別交通死亡事故数がワースト1位という結果であった。自転車に関する交通事故は平成14年をピークに減少しつつあるが、県内の交通事故に占める割合は年々増加傾向にあるため、より一層の自転車乗車時の交通ルールの必要性を理解してもらうことを目的とする。	（中原区役所・中原警察 委託業者・全校生徒・スケアードストレート方式交通安全教室）
5 川崎市	中複合	その他	・防災教育 ・道徳教育	・昨年度と同様、防災訓練を2回実施した。地震や火災を想定し、防災担当の先生から安全についてのお話があり、子どもたちは真剣に聞いていた。また、保健体育・社会・理科・国語・家庭科・英語などの授業で、「命」の大切さについて各教科担任から授業中に講話がされている。災害があった時に何をすべきかを多く学ぶことができた。 ・今年度も道徳教育で「命」について授業を確実に行った。コロナウィルスの拡大予防ということも視野に入れて話し合いを行い、意見交換は活発に行われた。授業の終末の部分では、今後の自分自身の生き方や目標についても考えさせた。	・防災教育担当教諭からの講話。保健体育の保健分野で教科書を使用。社会科で資料集。国語科・家庭科・英語科は教科書の教材を使用。 ・道徳の教科書を使用。

6	相模原市	中複合	その他	命の尊さ	ねらい「生命の尊さを理解し、自他共にかげがえのない生命を尊重する態度を育てる」を踏まえて、ギランバレー症候群を経験した大塚克則さんをお呼びし、その経験と、自分自身を大切にしながらより良く生きることについて講演をしていただいた。体育館での公演を予定していたが、熱中症。コロナウイルス感染対策の為に、オンラインでの講演になった。その後、人権作文を書き、人権について深く考える機会を作った。	
7	相模原市	中複合	その他	人権教育「人権作文読み聞かせ」	世界人権デーに合わせ、朝の会前の10分間を利用し、過去に表彰された人権作文の読み聞かせを行った。担任が読み聞かせを行った。様々な人権の事例について学ぶことができた。	第40回全国中学生人権作文コンテスト中央大会入賞作文集
8	相模原市	中複合	その他	防災訓練	地震・火災などに自分自身の身の安全を確保する方法を考えた。	防災テキスト
9	横須賀市	中1	その他	喫煙防止講演会	メンタルクリニックの医師による講演を実施。事前に喫煙に関するアンケートをとってから講演を聞いたこともあり生徒も自分ごととして真剣に話を聞く様子うかがえた。喫煙だけでなくSNSなども含めた「依存症」が「3ない人間(考えない・我慢できない・がんばれない)を作ってしまう怖さ」の話には多くの生徒が実感をもって受け止めていた。事後のアンケートでは改めて喫煙の怖さ、命の大切さを考えることができた。	はらだメンタルクリニック医師
10	横須賀市	中2	その他	飲酒防止講演会	久里浜医療センターアルコール科の医師による講演を実施。感染防止のため1教室からオンラインで学年のすべてのクラスに配信したので、リアルタイムの感想は少なかったが、開放的になりやすい夏休みを前にアルコール(特に未成年の)による依存症の怖さひいては命の大切さを事後の感想の中で多くの生徒が考えていた。	久里浜医療センター医師
11	湘南三浦	中3	その他	命の大切さ	3年生の音楽の授業において卒業式で歌う式歌「あなたに会えて・・・」(山崎朋子 作詞作曲)に取り組んでいる。この曲を通して「今、ここに存在していることが奇跡であること」「原始の時代から途切れることなく命が受け継がれてきたこと」「だからこそ、両親に感謝して今を一生懸命生きなければならないこと」を歌詞を通して学び、卒業式当日、感謝の気持ちを込めて保護者・教職員に披露する。	「あなたに会えて・・・」(山崎朋子 作詞作曲)
12	湘南三浦	中3	その他	Animals on the Red List	国際自然保護連合(IUCN)が絶滅危惧動物についてまとめたレッドリストから、多くの動物が絶滅の危機に瀕していることを学んだ。日本のトキ、コンゴ民主共和国のゴリラについて学ぶことで、何が原因で絶滅に瀕しているかについて知ることができた。その上で多くの絶滅危惧動物を守るために自分達にできることは何かについて深く考えた。	

13	湘南三浦	中複合	その他	いじめ暴力撲滅運動	生活委員会の活動として、年間を通していじめ暴力撲滅運動に取り組んでいる。今年度は、9～10月頃に全校一斉授業を実施し、各クラス生活委員の主導によりワークを行った。内容としては、ストレスの感じ方やそれにどう対応するかには個人差があることを理解する「心のコップ」というワーク及びいじめアンケートの実施・分析を行い各クラスの課題点や改善方法を話し合う取組を経て、まとめとして、個人による「いじめ撲滅宣言」を行った。いじめ撲滅宣言については、生活委員と部活動の部長が各クラスをまわり、自分の宣言をした。全校生徒一人ひとりが主体的にいじめ問題と向き合い、考える取組となった。	生活委員の主導で行う。委員や部長の宣言を全校で共有する。
14	湘南三浦	中3	その他	平和教育	インドの民族独立運動の最高指導者であるガンディーの活動の根底に流れる非暴力の精神について、自分事として考えた。また、非暴力を基本とした独立抵抗運動の内容を知ることを通して、「平和」や「人権」の大切さを考え、平和を維持する尊さを学習することができた。	教科書 NEW HORIZON 第3学年 Unit 5 A Legacy for Peace
15	湘南三浦	中3	その他	当たり前で感謝	道徳の授業で、「花火と灯ろう流し」という教材を通して日本の年中行事について理解を深め、先人たちの豊かな心情を感じ取り、伝統の継承と文化の創造に努めようとする心情を育てるための補助教材として、短い動画を見せた。小学1年生の作者が、妹の誕生を心待ちにする中、叶わなくなり、その経験をどう感じたかを作文し、それを朗読する姿を通じて、まだ幼い少年が、天使になった妹への想いや毎日の生活を当たり前でできていることへの感謝の言葉を表現する姿を通じて、彼のことば「いきていること、ありがとう」を生徒一人ひとりが実感できる時間を共有した。	東京書籍『新しい道徳3』 先人の思いとともに「花火と灯ろう流し」「いつもありがとう」 作文コンクール 第10回 最優秀賞 「てんしのいもうと」
16	湘南三浦	中複合	その他	防災教育	本校では「リアル」を大切に防災学習に取り組んでいる。今回行った防災訓練の概要として、授業中を想定し、地震発生の放送が入る。加えて、火災が発生したことを伝えた。教員でも火災発生予定場所を知っているのは数名で、ほとんどが生徒を先導するための臨機応変な対応を求められた。生徒だけでなく、教員も「リアル」な想定の中で防災訓練を行うことで、いつ来るか分からない「災害」に対してできる限りの備えを今後も継続していきたい。	
17	県央	中複合	その他	人権教育 『命の大切さ』	生徒たちの普段の会話からも命を軽くとらえている様子が伺える。また、自傷行為の事例も年々増え、さらに低年齢化してきている。その中で、『命の大切さ』を考えさせられる内容の詩を探し、朗読したものを放送した。家族、友人などへの思いやりのある言動を取ることで、自分の命も大切にすることを、いじめ・暴力行為をなくしていくことをへの意識付けができたのではないかと思います。	詩の朗読は演劇部に依頼し、録音したものを朝読書の時間に流したり、電子黒板で動画を流したりする。『聞く』『見る』『考える』に集中させるため、教材やプリントは特になし。放送終了後は、各担任からフィードバックさせる声掛けをしてもらう。
18	県央	中複合	その他	人権週間の設置	本校では、12月に人権週間として人権について考える期間を設けている。道徳・読み聞かせ（人権作文）・委員会活動の時間を通じて、「いじめ」「障がい」「差別や偏見」といったテーマについて考えるきっかけとなった。委員会活動の具体例：福祉委員会で人権に関する標語の掲示や人権作文の感想の掲示、図書委員会で図書室に人権コーナーを設置した。	全学年実施 教材「世界人権宣言」 「人権作文」など

19	県央	中3	その他	生命と性の健康教育	はじめに生命誕生のお話があり、私たちがどのようにして生を受けるに至ったかの内容であった。本校では1学年でも生命誕生についての学習を行っており、知識がある生徒も見られた。その後、性感染症や予期せぬ妊娠が増えているという現状を実際の事例を提示しながらお話頂いた。その内容も考えさせられるものであり、思春期である生徒も性行動について考えるきっかけとなった。	講師は昭和大学保健医療学部看護学科助産学専攻科教授 オンラインを使用し、講師に用意していただいたスライドショーを体育館で視聴。
20	県央	中1	その他	情報モラルと命の大切さ	多くの中学生が使用しているスマホやパソコンの使い方を間違えると、殺人事件に巻き込まれる可能性があること確認した。また、自身がSNSで発信した内容によっては、相手を傷つけ自死に追い込むことがあることを学んだ。自己および他者の命はかけがえのないものであることを理解させ、いじめや暴力は許さないという人権感覚を育てた。	講師は厚木警察署のスクールサポーター
21	県央	中複合	その他	防災教育 「地震から命を守る」	日常生活の「その時いる場所」で実際に地震が起きたときに、どう対処し、どう行動するかシェイクアウト訓練を市内一斉に実施した。 「姿勢を低くし、頭を守り、動かない」という3つの安全行動を確認し、授業中に予告なしで緊急地震速報を放送で流し、約1分間、その場で先に挙げた安全行動を行い、自らの命を守る訓練を行った。	全職員 3つの安全行動を示したイラストを全教室に掲示し、図解を見ることで、具体的に行動することができた。
22	県央	中3	その他	命を大切さ・性感染症・自他の尊重 「自分を大切にすること」「他人を大切にすること」などを映像を通して伝えられた。	産婦人科医の目から見て、中学校3年生へ「命の尊さ」「命の大切さ」「自分を大切にすること」「他人を大切にすること」などを映像を通して伝えられた。	産婦人科専門医
23	県央	中1	その他	命の大切さと家族について	生徒たちは授業の初めに各自で自分の誕生にまつわることで知っていることを思い出してから、映画を鑑賞した。作品中の、『親に怒られて家出しようとした時』の主人公の気持ちや、『自分が生まれた日の様子を見て自分が親に大切にされていることに気づいた時』の主人公の心の動きを追った。その後、こういった主人公の体験と生徒自身の日常を重ねて考えた。生徒たちは思春期に入って親に反抗的な気持ちを持つこともある年代であるが、映画鑑賞を通して家族の大切さや親への感謝の気持ち、命の大切さを再認識した様子が見られた。	
24	県央	中2	その他	「妻が願った最後の7日間」	心にしみ入る授業をテーマに行った。生徒は「妻が願った最後の7日間」を動画視聴し、自由作文を書いた。作文を書かせる際には、教員は何も話さず動画の余韻を大切にさせた。動画中に涙を流す生徒もおり、「生命の尊さ」「家族愛」について考えることができた。自由作文には「この動画から家族や友人を大切にしようと思った」「今を大切に生きなければいけないと教えてくれた。大切なことは悔いなく生きることだと思った」「あたたかい気持ちになった」など「いのち」について考えを深めることができた。今後も、生徒の発達段階や学年の状況に応じて、効果的な授業を考えていきたい。	・動画 ・ワークシート 考えを発表するなどをあえてせず、自由作文をさせることで、生徒の素直な思いを確認できた。

25	県央	中複合	その他	いじめ暴力防止 キャンペーン	生徒会を中心に、作文の朗読や誰かにありがとうと思ったことを書く活動などを行った。全校でいじめの非情さへの理解を深め、お互いの命を尊重し、いじめや暴力をゆるさないという決意をあらたにした。	
26	県央	中複合	その他	車いすバスケット	車いすバスケットの選手を講師に招き、選手たちの講演と体験学習を行った。選手からは中途障がい者になった経緯やその後の生活、考え方について話していただいた。その後車いすバスケット用の車いすを実際に体験した。生徒からは「命に係わる辛い状況になっても、前向きに考えている選手の話に感動した」「失くしたものを悔いるよりも、今できることをがんばる、という選手の言葉に自分も頑張ろうと思った」という感想があった。	
27	県央	中複合	その他	薬物乱用防止	薬物の怖さ、ネットの罠などの事例を講師に映像資料を使いながら話し頂いた。その恐ろしさを知った上で、麻薬の売人（身近な先輩や知り合いの設定）からの勧誘をどう振り切るか、ロールプレイをした。生徒達は自分ごととして真剣に、身の守り方を考えた。	講師 厚木警察署生活安全課少年係 スクールサポーター 全校生徒（中1、2） で実施
28	中	中1	その他	いのちの話	性教育講演会という大きなタイトルで、命の大切さ、LGBTQ、思春期の特徴、大人とはどんな人のことか、大人になるとはどういうことか、困ったときには周りの大人に助けを求めて欲しい…等、分かりやすい言葉と、スライドで45分間お話をしていただいた。おなかの中の赤ちゃんの大きさを示した人形や、胎児のエコーの心音、産声など、興味を持ちやすい資料を用意してくださり、生徒たちは真剣に聞いていた。	あゆみ助産院 助産師 さん
29	中	中複合	その他	学校保健委員会 「BIRTH－自分で 決めた愛しい 命」	生徒自身が自分の命の素晴らしさに気づき、生命の奇跡を実感することで、自己肯定感を高め、自らの力でより良い人生を歩んでいくための力を育むことを目的とした講演会。体育館フロアに自由に座って、飾らない言葉で語られる話や、ギター演奏と歌を聴いた。生徒たちは近くの友人と感動を共有できる時間になった。映太さんの書道の作品は校舎の渡り廊下の所に掲示してあり、いつでも自由に見ることができ、感じたことを再認識できる。	社会活動家、歌手
30	県西	中複合	その他	LGBTQ	本市では、来年度から新しい制服を取り入れる。その要因の1つに、性の多様性がある。そこで、LGBTQについての講演会を設定した。 講師は、積極的に生徒自身に問いかけ、やりとりをする中で、自分のイメージを色に例えることで、自分について考えたり、周りの人について考えたりする機会をもたせた。そして、性に関して葛藤したご自身の体験を語ってくださり、生徒たちは真剣に聞き、それぞれが性の多様性について考えたり、周囲の人の悩みを分かち合えるようになりたいと言ったりするなど、自分を見つめ直す時間になった。	

31 県西	中複合	その他	折れない心を育てるいのちの授業	講師を招聘し、スライド資料を基に、講義・ペア活動等を行った。主に、苦しいときの対処法や苦しい人への対話の仕方を学んだ。実際に、苦しんでいる人への声かけや対話の方法を考え、苦しんでいる相手の気持ちに寄り添うことの大切さを学んだ。	講師：一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 業務執行理事
-------	-----	-----	-----------------	---	-------------------------------